



1村1自然エネルギー プロジェクト

平成 26 年 3 月 12 日



団体名 大日向桜・里地を守る会

職氏名 会長 宮本 勇雄 印

大日向桜・里地を守る会は、信州の自然エネルギー資源を活かした「1村1自然エネルギープロジェクト」を以下のとおり推進しています。

区 分	摘 要
取組の名称	須坂市大口伊勢宮小水力発電所事業
取組の主体	大日向桜・里地を守る会
取組の構成団体名 (複数の者で構成する場合)	大日向桜・里地を守る会 (代表 宮本勇雄)
普及する自然エネルギーの種類等	小水力
取組の目的	身近にある水路を活用した小水力発電の実用性と自然エネルギーの再生可能性を広く発信し啓発を図る。
地域関係者との協働の内容	①須坂市指定の大日向観音堂しだれさくらの保護及び観光客の受入れ ②地元農産物のPR ③里山の植樹と間伐及び整備 ④県道五味池高原線周辺の清掃及び植栽活動 ⑤れんげの里管理と遊休農地の解消 ⑥その他環境保全に関する事業
プロジェクトの部門	①地域づくり ②ソーシャルビジネス ③開発研究 ④その他(場作りなど)
取組(事業)	①構想段階 ②実施段階 ③発展段階

の 段 階				
取 組 の 概 要	①地形の違いによる下掛け式の2種の水車の設置により、小水力発電に適した地形や発電力の違い、地域での実用性を見学・学習できる。 ②1つの河川で複数の発電を行い、自然エネルギーが再生可能なエネルギーであることを広く伝える。			
事務局担当者の連絡先	担 当 者	大日向桜・里地	氏 名	宮本 勇雄
	所 属	を守る会		
	T E L	026-246-2447	email	isao.miyamoto@stvnet.home.ne.jp
備 考				

注) 変更登録申請を行う場合は、変更箇所に下線を引いてください。



区 分	内 容														
取 組 の 内 容	当プロジェクトは、周辺地域の環境保全・環境整備などを協働で行い、地域の活性化をはかる。 水路を活用した自然エネルギーの小水力発電（Φ3.5m）を平成24年に設置し、防犯灯・街路灯・無料充電スタンド・公会堂に利用し、省エネの課外授業と合わせ、温暖化防止に貢献している。 ・場所 交通量が多く大勢の人の目に触れる県道五味池高原線の起点付近 ・実施の内容 1 小水力発電所整備 地元産木材（杉・桧）を活用し、地元職人と中学生（須坂東中学校生徒）が協働しボランティアで水車製作を行う。 2 水車公園周辺整備 ① 発生電力を活用した屋外灯、電気柵等の整備 夜間…道路照明・防犯灯・街路灯（LED10灯）、イルミネーション 昼間…鳥獣防止用電気柵・水中ポンプに有効利用 ② 案内看板設置 <table border="0"> <tr> <td>案内看板（木製 45 cm×60 cm）</td> <td>1 枚</td> </tr> <tr> <td>説明看板（パネル 60 cm×45 cm）</td> <td>1 枚</td> </tr> <tr> <td>許認可看板（パネル 45 cm×30 cm）</td> <td>1 枚</td> </tr> <tr> <td>注意看板（パネル 30 cm×30 cm）</td> <td>3 枚</td> </tr> </table> 3 通電式の開催 【と き】平成24年12月9日 【ところ】須坂市大口伊勢宮小水力発電所 【出席者】国・県・市の関係者、信州大学、信州ネット、地元住民、会員、企業、旅行関係者、水神講ほか 4 各種学習会の開催 須坂市の手作り小水力発電水車を、地域のシンボリックなテーマパークとし、子ども、若年層をはじめ多くの方を対象に、自然エネルギー有効活用の見学体験・出前口座の開催等、市民協働の水力発電所とし、再生エネルギーの普及を他団体と協力し進めていく。 〈主な内容と協力団体〉 <table border="0"> <tr> <td>11月下旬</td> <td>自然エネルギー学習会（教育委員会）</td> </tr> <tr> <td>3月下旬</td> <td>省エネ講習会</td> </tr> <tr> <td>8月上旬</td> <td>大日向の里地と水車見学会（地元育成会）</td> </tr> </table>	案内看板（木製 45 cm×60 cm）	1 枚	説明看板（パネル 60 cm×45 cm）	1 枚	許認可看板（パネル 45 cm×30 cm）	1 枚	注意看板（パネル 30 cm×30 cm）	3 枚	11月下旬	自然エネルギー学習会（教育委員会）	3月下旬	省エネ講習会	8月上旬	大日向の里地と水車見学会（地元育成会）
案内看板（木製 45 cm×60 cm）	1 枚														
説明看板（パネル 60 cm×45 cm）	1 枚														
許認可看板（パネル 45 cm×30 cm）	1 枚														
注意看板（パネル 30 cm×30 cm）	3 枚														
11月下旬	自然エネルギー学習会（教育委員会）														
3月下旬	省エネ講習会														
8月上旬	大日向の里地と水車見学会（地元育成会）														

	5 チラシの作成 2種類の小水力発電所についてわかりやすく説明・紹介するチラシを作成し、地域の身近な水路を利用した再生可能な自然エネルギーの啓発を図る。 〈仕 様〉A4、カラー両面、光沢紙 〈作成部数〉児童・生徒向け 1,000部 一般向け 1,000部 〈配布先〉通電式や学習会、地域のイベント等で配布・活用
取組を行うコミュニティの区域	須坂市大日向地区
構 成 員 の 役 割	（構成員の役割分担、執行体制について記載） 構成員数 38名（男28名、女10名） ①調査・指導・助言 信州大学池田教授、同飯尾助教授、信州ネット宮入局長、丸山技師、アルプスの風月岡局長、倉沢技師 ②事前相談 長野県（地球温暖課、河川課、農政課、建設事務所） ③許可申請 千曲川河川事務所、経済産業省、北陸地方事務所 ④意見書 県知事、県建設部、須坂市長、市生活環境課 ⑤その他許可 共架線占用、水路占用、敷地専用、寄付行為 ⑥同意書 水利組合、区長、隣接者
現 に 活 動 し て い る か の 有 無	有り（平成22年に1基目設置、活動4年目）
活 動 の 成 果 等 の 帰 属	須坂市大日向地区住民
普 及 推 進 体 制	
取 組 の 有 効 性	1 再生エネルギーによる安心安全な地域づくりと、夜間の交通事故防止に繋げる 2 見える省エネ節電 発電量：500W 3 自然エネルギーを24時間365日経済的に有効利用 4 地域住民の協働による取組みが刺激となり、他地域への波及効果 5 名勝臥竜公園が近く（徒歩15分）、水車のある景観はインパクトがある。

	6 観光・教育・環境保全・癒しから人の流れができコミュニティの活性の一助となる。
継続性及び発展性	以下の点から、自然エネルギーの普及促進について、他地域のモデルとなる効果が期待できる。 1 地形の違いによる下掛け式と横掛け式の2種の水車の設置により、小水力発電に適した地形や発電力の違い、地域での実用性を見学・学習できる。 2 1つ河川で複数の発電を行い、自然エネルギーが再生可能なエネルギーであることを広く伝える。
関係法令の手続き状況	道路占用許可申請、水利使用許可の手続きは完了済み
団体設立年月日	平成15年 5 月15日
ホームページ	
備考	

添付書類 ①組織の規約（市町村の場合は不要）、②プロジェクトの概要書（別紙）、③構成員名簿、④取組の内容の分かる資料（写真等）

注）変更登録申請を行う場合は、変更箇所に下線を引いてください。

